

開催日	2024年11月8日(金)
開催時間	13:00～16:40
名称	自動運転社会の実現に向けて ～交通革命と私たちの生活への影響～
主催	日本技術士会神奈川県支部、神奈川県立産業技術総合研究所 共催
開催場所	波止場会館 4 階 大会議室
行事内容	講演会
参加人数	68名(会場29名+Web 39名) うち一般24名(会場9名+Web 15名)

内容

I 講演概要

【講演1】 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの自動運転シャトルバスの開発の紹介とレベル4自動運転に向けた課題の考察

講師:慶應義塾大学 環境情報学部 教授 大前 学 氏 (博士(工学))

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(神奈川県藤沢市)では、学内を走行するシャトルバスを自動運転化し、2022年5月から自動運転による定常運行を行っている。この講演では、自動運転シャトルバスの開発・運行の取り組み概要、制御プログラム開発時に考えたこと、将来に向けた課題などを開発者の視点から解説された。

【講演2】 自動運転技術の基本的な概要

講師:東京農工大学名誉教授 現:産官学連携研究員 毛利 宏 氏 (博士(工学))

自動運転の技術的な内容を大まかに説明された後、自動運転のレベル分け、自動運転に用いられる地図、センサ、それらに基づく自己位置推定、周囲環境認識技術と課題、交通環境に基づいた判断やパスプランニング、目標軌道追従方法などについて概説された。

【講演3】 バス事業者による自動運転サービスの実用化に向けた取組について

講師:神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 次世代モビリティ担当 課長 富永 勇輝 氏

バス事業者が直面している課題から「なぜ自動運転が必要とされるのか」、過去の実証実験内容等を中心に紹介された。また、バス事業者＝自動運転ユーザーの目線から見た、公共交通への自動運転サービスの落とし込みイメージや導入価値をはじめ、実際のお客さまの利用シーンの変化にも触れ、路線バスの自動運転化において「走る・曲がる・止まる」以外に必要な要素は何か、走行技術とは異なる観点からも自動運転サービスのあり方について包括的に説明された。



講演 1:大前 学 氏



講演 2(Web):毛利 宏 氏



講演 3: 富永 勇輝 氏



開会挨拶:松田支部長



開会挨拶:岸本副理事長



会場風景

